



こくふっこ

令和5年度

R5. 5. 19

上越市立国府小学校

子どもたちのアイデアを生かした150周年

校長 笹川 隆

これまでも、お知らせしてきましたが、本年度は国府小学校の創立150周年の記念の年です。記念Tシャツや記念誌の作成、式典等の記念事業については、既に配付または回覧の、寄付金募集のための趣意書等に記載されていますのでそちらをご覧ください。今号では子どもたちが考えた、お祝いの取組について紹介します。

右のイラストは、春休みに子どもたちにキャラクターの募集を呼び掛け、集まったものの中から、4年生と6年生のアイデアを組み合わせで作った、国府小・イメージキャラクターの「じょうぶ」です。元になったのは、東玄関前に設置してある石碑（昭和61年に校舎増改築竣工記念により設置）です。（ご来校の際はぜひ実物をご覧ください。）



国府小・イメージキャラクター「じょうぶ」



Tシャツを着て喜ぶ子どもたち

この石碑をイメージした応募が多かったことから、多くの子どもが、この石碑の周りで遊び、日々目に見ていることで、国府小学校のシンボルとしてのイメージをもっていることが分かりました。最終的には子どもたちの投票により決定したキャラクターです。

「じょうぶ」は記念Tシャツに印刷し、体育大会をはじめ、子ども祭りや相撲大会などで全校児童が

着用し、みんなでお祝いムードを高めます。

6年生は4年生の時に総合的な学習の時間で作成したのぼりを、お祝いに生かしたいと考えました。「祝150」の文字を入れ、リニューアルしたのぼりは、やはり節目となる行事の際に設置して、行事を盛り上げたいと考えています。

他にも、11月23日の記念式典に向けて、子どもたちが150周年お祝い動画を作成する予定ですし、子どもたちが主体となってギネスに挑戦する企画も、6年生を中心に検討しています。（今後、機会をとらえて紹介したいと思います。）

これらの活動は、前号で紹介した教育活動の三つの柱のうち、「子どもたち自身が考える学級経営・教育活動を展開します」に直接結びつくものです。自分たちが主役であるという意識を育て、自己肯定感や有用感を高めていきたいと考えています。



リニューアルしたのぼり